

釜山教育大学校 留学体験報告書

留学・研修等時の 本学の所属、氏名	課程 初等教育 社会科 専攻・コース 学年 3年 氏名 荒木 健太
留学・研修等の期間	2009年 8月 20日 ~ 2010年 7月 25日
留学・研修等の国、大学名	釜山教育大学校
留学・研修等の種類	交換留学
奨学金名（金額）	JASSO 日本学生支援機構 月8万×11カ月
留学・研修等の目的・動機	文化学習、語学習得
求められた語学力 及び具体的な準備内容	語学能力証明書が必要ですが、発行には試験は無く、担当者との面談にて発行の可否を決定しました。釜山教育大学は韓国語クラスがなく、最初から一般学生と共に授業を受けるので、初級レベルの韓国語の習得をしておくことが望ましいです。福岡教育大で開講されている韓国語授業を事前に受けることや、語学研修を受けることをお勧めします。
留学・研修等の選考方法	書類選考
情報収集方法	留学経験者からの情報、インターネット、福岡教育大で発行している留学ガイドブック
語学クラスの状況 (人数、内容等)	釜山教育大学校自体には語学クラスはありません。 その代わりに、釜山市庁が週2日で外国人対象の語学クラスを開講(無料)しており、韓日文化交流協会では週1日日本人向けの語学クラスがあります(5万ウォン)。
履修科目・内容	実技系(体育実技、音楽実技、技術実技、コンピューター実技)、社会系(地域地理、歴史理解、社会科教材研究)、道徳教授法、科学実験
先方大学等の 単位認定状況	全単位取得
本学での単位認定状況	
学年歴 (学期・試験・休暇等)	1学期 3月～6月 期末試験 6月中旬 夏休み 6月末～8月初め 2学期 8月中旬～12月 期末試験 12月初旬 冬休み 12月～2月

履修に関する留学先大学のサポート（チューター等）	チューター制度はありません。大学の企画室が留学生全般の支援を行っていました。また、福岡教育大に留学していた韓国人留学生がサポートしてくれました。
学習環境（図書館等）	パソコン室、印刷室等がある。印刷カードはこの印刷室で購入できます。地下には学習室があり勉強するにはお勧めです。
居住環境	寮。 1、2、3館と、三つの寮がありますが、3館が一番新しく、施設・設備等において最も充実しています。どの館も3食出て、1館は主に女子生徒専用、2、3館が男女兼用です。2館はベッドが設置されていませんでした。2、3館は2人部屋3つで一つの部屋(ルーム)を形成しており、トイレとシャワーが設置され、6人共同で使います。2館は洗濯機が各部屋に備わっていますが、3館は地下1階にまとめて設置してあります。全寮門限は12時で、飲酒、喫煙、料理(火を使うもの)は禁止です。
生活費（月額）	平均50万ウォン程度(寮費含む)。

物価（食費、住居費等 日本の物価と比較して）	比較的安い。
留学・研修等の必要総額 （渡航費、生活費を含む）	80万円程度
治安状況	比較的安全でした。ただし、人通りの少ない場所への夜間外出は避けるべきで、深夜に女の子一人でタクシーに乗るのは危険だと思います。
保険	AIG生命 海外旅行保険。 もともとは保険なしで留学しましたが、釜山教育大学企画室の先生の計らいで保険に加入しました。相当安かったです。
その他注意すべき事項	<p>○釜山に着いたら外国人登録と在留届を申請してください。外国人登録は韓国で携帯電話、銀行口座を開くときに必要となってきます。釜山港近くに入出国管理事務所があるのでそこで申請してください。また外国人登録証は外国人の身分証であるので、常時持っておいてください。在留届は外務省のインターネットサイトで申請でき、帰国時は帰国届も申請してください。</p> <p>○携帯電話は満20歳以下なら契約することができません。その場合は大学の企画室に相談し、一旦先生に名義を借り、満20歳になった時点で名義変更を行うことをお勧めします。ある程度の年齢差がなければならぬので、友達の名義を使うことは出来ません。携帯の解約時は外国人登録証が必要なので注意しましょう。</p> <p>○もし韓国で盗難・紛失にあった場合、速やかに警察に盗難・紛失申請をしてください。その時に外国人登録番号が必要なので、登録証に記載してある番号をメモしておくといと思います。</p> <p>○釜山教育大学には韓国語クラスがないので、釜山市庁主催の語</p>

学講座(無料)に行くの良いと思います。初級、中級、高級(上級)にクラスが分かれており、週2日で主に午前中に行われています(例外あり)。また、韓日交流協会で週1日開かれている日本人向けの語学クラス(有料; 5万ウォン、木曜の夜)もあるのでこちらも活用すると良いと思います。ここでは、韓国文化体験も実施しているので語学クラスだけではなく文化体験にも参加することをお勧めします。

○日本に一時帰国する場合は出入国管理事務所での再入国手続きをする必要がありますが、ビザのEntriesが「M」ならば手続きをする必要はありません。

○日用品や食糧品は学校近くにあるショッピングセンター「ホームプラス」(24時間・徒歩10分くらい)がお勧めです。病院などは釜山日本人会が開設しているホームページで「日本語の使える病院」を参照してください。

基本的に、留学生活で問題が発生した場合、釜山教育大学企画室に申し出ればおおむね対処してくれます。問題が起きたら一人で対処しようとせず、必ず友達に相談してください。

留学・語学研修等体験レポート（自由記述）

留学を終えてみると、約1年間韓国で過ごした経験は、私にとってかけがえのないものとなりました。韓国での多くの出会い、多くの体験は私の今後の人生において必ずプラスになると思っています。この経験を大切にし、これから自分の歩む道を進んでいきたいと思えます。

もともと私は英語圏志望であり、韓国に留学するとは夢にも思いませんでした。韓国に関心を持ち始めたのは大学に入学してからであり、福岡教育大学に留学していた韓国人学生と交流することでより韓国に対する思いは深まって行きました。今では韓国に来て良かったと言う気持ちでいっぱいですが、当時は文化や言語に対する不安も多々ありました。特に語学のほうは散々で、授業の内容を把握することが出来ず毎日苦勞していました。正直もう少し勉強してから来れば良かったなと思うばかりです。それなりに韓国語が上達しても、やはり専門性の高い授業では思うようには出来ませんでした。一緒に授業を受ける友達の助けを借り、なんとか全ての授業を履修することが出来ました。助けてくれた多くの人にはただ感謝の一言に尽きます。

辛い物しかないと思われがちですが、日本人好みの食べ物もたくさんあります。しかしながら、どのような料理にもキムチは必ずついて出てきます。オムライスにキムチがついて出た時には本当に驚きました。韓国の店では「突き出し」が多く、何種類ものおかずが出てきます。おかずのおかわりは自由なので、メニューを一つ頼むだけでお腹いっぱいになりました。物価が安いのも手伝い、月の生活費はかなり安く抑えられますが、安いと思うと逆にたくさん買ってしまい、結局月の生活費は日本にいる時とあまり変わりなかったです。大学の立地が大変よく、出歩くのには都合の良い場所でした。近くにはショッピングセンターがあり、地下鉄の駅にも近く、良く繁華街に出て行きました。福岡教育大学に戻って来て、釜山で過ごしたあの頃が懐かしく感じます。

韓国の大学の雰囲気は日本と似た部分も、また違った部分もあり、日本の大学とは一味違った生活を過ごすことができました。学生が部活に励み、時には授業をさぼったり、提出期限ぎりぎりにレポートを終わらせたりと、あまり変わらないのだなと感じさせることもありました。ただ、授業が50分制で1日8限までありました。多くは2時間授業ですので、50分×2ですが、中には3時間授業もあり正直大変でした。授業はほとんど決められたものを履修し、4年までほとんど学科ごとに授業を履修します。日本よりも選択授業が多くありませんが、同じ学科同士で過ごして行くので学生同士の繋がりはとても強かったです。MTと言う学生同士の活動も多々あり、学生同士の雰囲気はとても良かったと思えます。また、私の友達が勤勉だったのでそうだったのかはわかりませんが、長期休暇の時は英語塾に通い、パソコンの資格を取る人もいました。学校では家庭教師のアルバイトに人気があり、友達の多くも家庭教師をしていました。ボランティアをする学生も多く、学生が積極的だなと思えました。

韓国では成人男性に対して兵役がありますが、教育大学にも兵役を終えて入学した人が多く在籍していました。一般的に総合大学では2年生を終え、休学をして兵役に就く人が多いですが、教育大学では4年就業してから兵役に就きます。教員採用試験に落ちれば2年間兵役に就いてから再度勉強しなければならないので、兵役

を終了してない友達はかなり頑張って勉強していました。兵役を終えた友達から色々な話を聞きましたが、正直日本に住んでいて良かったなと感じます。ただ、兵役で過酷な時期を過ごしているのも韓国男性は日本人男性よりもたくましく感じました。毎日規則正しい生活を送り、いつ何が起こるか分からないプレッシャーの中で過ごしたと言う経験は、精神的にも体力的にも良い影響を与えているのだろうと思いましたが、やはり軍隊には行きたくはないです。これから兵役に就く友達には無事に兵役を終えて帰って来て欲しいです。

1年間いろいろなことがありましたが、韓国と言う国は語り尽くせないほど魅力を持った国でした。最初は驚くことばかりでしたが、今となってはとても懐かしく感じます。福岡教育大学で海外に留学する人は多くないと思います。そんな中でこうやって韓国に留学することが出来たということは、他の人よりも様々な経験が出来たということだと感じています。1年間という長いようで、終えてみるとあっという間の時間でしたが、私にとって大変貴重な経験となりました。これからどのようなことをしていくのかはまだ分かりませんが、この経験を活かせるようなことをしていきたいと考えています。留学の際にサポートしてくださった方や、韓国で助けてくれた友達には大変感謝しています。経験を活かせるか活かせないかは自分次第ですので、これからのことをしっかりと考えて進んでいきたいと思っています。貴重な留学が出来たことを感謝しています。ありがとうございました。

釜山教育大学校 留学体験報告書

留学・研修等時の 本学の所属、氏名	課程 学校臨床教育学 専攻・ コース 学年 3 氏名 出雲 しおり
留学・研修等の期間	2009年 8月 20日 ~ 2010年 7月 28日
留学・研修等の国、大学名	釜山教育大学校
留学・研修等の種類	交換留学 私費留学 語学研修 インターンシップ ワーキングホリデー
奨学金名（金額）	短期留学推進制度(月8万円)
留学・研修等の目的・動機	語学習得
求められた語学力 及び具体的な準備内容	大学に韓国語の授業が無いため、事前に韓国語を勉強するのが望ましい。
留学・研修等の選考方法	面接・書類選考
情報収集方法	インターネットや連携推進課に相談
語学クラスの状況 (人数、内容等)	語学クラスはなし。
履修科目・内容	自分が選択したもの
先方大学等の 単位認定状況	単位はくれました。
本学での単位認定状況	単位変換しませんでした。
学年歴 (学期・試験・休暇等)	3月から前期→6月中旬から夏休み→8月末から後期→12月 中旬から冬休み
履修に関する留学先大学の サポート（チューター等）	留学生をサポートしてくれるチューター制度はなかったが、友達が親切にサポートしてくれた。
学習環境（図書館等）	図書館は非常に広くて綺麗で学習しやすい環境だと思った。 しかし、教員採用試験前になると、図書館で勉強する人

	がかなり多くなるため、図書館で勉強するなら、朝はやく席をとらないとダメ。
居住環境	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 ホームステイ アパート その他 ()
生活費 (月額)	寮費込みで80万円でした。

物価 (食費、住居費等 日本の物価と比較して)	日本よりは少しだけ安いです。
留学・研修等の必要総額 (渡航費、生活費を含む)	全部で80万円でした。
治安状況	よい方だと思います。
保険	学校の先生に勧めていただいた留学用の保険に韓国に入った。
その他注意すべき事項	語学に関して、釜山教育大では韓国語の授業が無いので、市庁で開設されている無料の韓国語講座や、韓日文化交流協会がやっている韓国語講座に行くとよい。釜山に住んでいる色々な国の人と知り合えるのでよかった。

留 学・語学研修等体験レポート（自由記述）

私は、2009年の8月から2010年の7月まで11カ月間韓国にある釜山教育大学校に留学して来ました。私にとってこの留学という経験は、生涯決して忘れる事の出来ない、忘れられない経験になったと心から思いました。

私が留学生活の中で1番残っているものはやはり「人との出逢い」でした。韓国の方は情が深いと良く言われますが、本当にその通りでした。友達は「困ったことがあったら何でも言ってね」と言ってくれて、授業の事などで相談しに行ったら本当に親身になって聞いてくれて、一緒に教授の研究室まで一緒について来てくれたり、韓国語が分からない時は優しい言葉で分かるまで何回も説明してくれたり、いつも気にかけてくれたり、本当に親切な人たちばかりでした。

食事に関しては、私が元々辛い物が苦手だったので、食事が非常に心配でした。しかし少しずつ食べて行くと徐々に食べられるようになり、1カ月ぐらい経てば普通に辛い物でも食べられるようになりました。韓国料理はおいしいものが多いのですごく良かったです。

語学学習に関しては、釜山教育大学自体には韓国語の授業というものがいないため普通の韓国の学生たちと一緒に授業を受けなければなりません。なので最初の学期は韓国語が分からなくて苦労しました。しかし、授業自体は自分で選んでとることが出来るので、言葉が分からない最初の学期は実技科目を主に受け、次の学期に講義の授業をとると、授業をちゃんと理解できるようになると思います。あと、学校で韓国語の勉強が出来ないので、釜山市庁で開かれている無料の韓国語講座や韓日交流協会の韓国語講座に通いました。通う事は大変だったのですが、大学だけでは会うことのできない新しい人達と会うことが出来る良い機会となったので、良かったです。でもやっぱり、語学力が伸びる1番の方法は、韓国の友達と一緒にしゃべりして遊ぶ事だと感じました。勉強するだけではやっぱりだめで、言葉をたくさん使うことで言語力と言うのは伸びるのだと実感しました。

留学を経験してたった1年間でしたが、本当に学んだことがたくさんあったと思います。最後に、この留学を支えてくださった方や、助けて下さった方、友達、留学を快く許して下さった両親に感謝したいです。本当にありがとうございました。

釜山教育大学校 留学体験報告書

留学・研修等時の 本学の所属、氏名	課程 生涯教育 専攻・コース 国際共生教育 学年 3 氏名 木村 美紀
留学・研修等の期間	2009年8月20日～ 2010年7月28日
留学・研修等の国、大学名	韓国 釜山教育大学校
留学・研修等の種類	交換留学 私費留学 語学研修 インターンシップ ワーキングホリデー
奨学金名（金額）	留学生交流支援制度（短期派遣）月8万円×11か月
留学・研修等の目的・動機	韓国語の向上。
求められた語学力 及び具体的な準備内容	大学の授業（週1回）の受講。その他 NHK ハングル講座 の視聴。ハングル能力試験 受験（4級＝初級）
留学・研修等の選考方法	指導教授による簡単な面接。（自己紹介、留学の動機など を韓国語で）
情報収集方法	留学経験者の先輩、連携推進課への相談等。
語学クラスの状況 （人数、内容等）	釜山教育大学校に、韓国語を教えてくれるクラスは無い。 （韓国語を学ぶ所としては、市庁が主催する韓国語講座、 日韓交流財団が主催する韓国語講座（共に無料）を利用）
履修科目・内容	情報社会とコンピュータ 生活英語 ゲーム活動 現代社会の倫理 工芸 ダンススポーツ 国楽実技 韓国語文法と標準語 英語実技 韓国教育史 体育実技 地域地理特講 音楽実技 化学実技
先方大学等の 単位認定状況	すべて認定受けました
本学での単位認定状況	申請中

学年歴 (学期・試験・休暇等)	1学期：3月～6月末 夏休み：6月末～8月末 2学期：8月末～12月中旬 冬休み：12月中旬～2月
履修に関する留学先大学のサポート (チューター等)	チューター制度は無いが、計画室 (福教大の連携推進課に当たる) が、学校生活をサポートしてくれる。
学習環境 (図書館等)	図書館1階は勉強室 (各階に勉強机あり)。
居住環境	寮 ホームステイ アパート その他 ()
生活費 (月額)	30万ウォン～50万ウォン (寮費は学期初めに一括払いなので除く) ちなみに寮費は1学期130万ウォン程度 (朝・昼・晩食事つき)

物価 (食費、住居費等日本の物価と比較して)	交通：市内、地下鉄どこまで行っても約1000ウォン 食費：食堂で食べるもの、屋台などは1000～5000ウォンでおなかいっぱい食べられる (スーパーで売っているもの、洋食類は日本とあまり差がない) ケータイ：1か月3～5万ウォン 服：安いものは5000ウォンから！
留学・研修等の必要総額 (渡航費、生活費を含む)	80万円程度
治安状況	安全
保険	韓国にいて、学校が勧めた保険に加入 (加入金10万ウォン)
その他注意すべき事項	特にはないですが、夜の一人歩きなど、日本でも気をつけることを、同じようにしたらいいと思います。

留学・語学研修等体験レポート（自由記述）

はじめに、留学するにあたって多くの手助けをしてくれ、快く送り出してくれた両親に感謝したいです。私の人生の中のどんな1年間よりも濃く充実した1年を経験できたからです。私が韓国に興味を持ったきっかけは、小学生の時にしたホームステイでした。出会った友達、家族がとてもよくしてくれ、不安いっぱい初めての海外だったのにも関わらず、言葉の壁を越えた素晴らしい思い出ができた、忘れることのできない経験でした。そして、その時の特別な感情が私の中に眠っていたのだと思います。大学に入って、韓国人留学生と親しくなったこと、韓国語の授業を取ったことを通して、1度韓国に留学してみたいという気持ちがどんどん大きくなっていきました。決断するまでそう時間はかかりませんでした。そして、そのとき思い切って留学を決めてよかったと思います。もしも、今行こうか行くまいか迷っている人がいれば、是非行ってほしいと思います！！

行く前は、ほとんどできない韓国語、そして何よりも初めての外国での生活への不安だらけでしたが、いざ行ってみると、そんなものは全てふっとびました。海に面した釜山ならではの、活気あふれる雰囲気に圧倒され、見るもの全てが新しい新鮮な毎日が続きました。慣れてくると、辛くて味噌汁であらって食べていたキムチも、その辛さがくせになったり、親しい友達もどんどん増えていたり、少しずつ言葉の上達を感じたりと、喜びの連続でした。

そして、釜山は日本から旅行で行く人も多いので観光地として良いところもたくさんありますが、生活する上でもとても良い町です。地下鉄が通っているのも、主要な場所にはたいてい行けます。ソウルやほかの地方に行くにも電車・高速バスに簡単に乗れるので、旅行もしやすいです。高速バスは2時間乗っても7000ウォン程度で、週末にぶらっと旅に出れちゃうくらいです。学校の周辺は大きな町ではないのですが、食堂も大型のスーパーもコンビニもあって不自由はしません。最近はおしゃれなカフェまでできて、授業の空き時間に行く人も多いです。一般大学の前は、やはり賑わっていて安くて美味しいお店、きれいなショップ、カラオケ、居酒屋とほとんどそろっています。学校から地下鉄で15分くらいなので週末にめいっぱい遊んでください。

遊んでばかりいたみたいなので、少し学校生活にもふれておきます。授業は基本的に自由に選べます。内容は、初等教育をベースに様々な教科があります。（韓国では教育大＝初等過程です。）授業は基本1コマ50分×2で構成されています。正直、最初のころは授業を理解するのに苦労しましたが、友達も助けてくれるし、たずねれば先生方も親切に教えてくれるので心配はいりません。大学の敷地内に付属の小学校もあって、希望すれば、釜山教育大の学生と一緒に実習も行けます。秋に学際もあるので、どんどん出て色んな科が出している屋台をはしごするのも楽しいです。そしてサークル活動も是非してみてください。私はテニスをしたのですが、実はサークルを通しての思い出が私の中で色濃く残っています。他のサークルは、テコンドー、国楽、ギター、コーラス、天体観測、サッカー、バレーなど豊富です。

釜山、そして釜山教育大の魅力はもっともっとあります。是非直接行って、身をもって感じて欲しいと思います。以上、不足ながらも釜山留学ナビでした～！

釜山教育大学校 留学体験報告書

留学・研修等時の 本学の所属、氏名	共生社会教育課程 国際共生教育コース 学年 4年 氏名 松尾優
留学・研修等の期間	2010年 2月 28日 ~ 2010年 12月 16日
留学・研修等の国、大学名	韓国 釜山教育大学
留学・研修等の種類	交換留学
奨学金名（金額）	日本学生支援機構 短期留学推進制度（月8万）
留学・研修等の目的・動機	異文化理解
求められた語学力 及び具体的な準備内容	基礎的な韓国語能力は必要。 大学で韓国語の授業はとっておいた方が良い。
留学・研修等の選考方法	学内書類選考
情報収集方法	釜山教育大学からの留学生や以前留学していた先輩にいろいろと聞いた。
語学クラスの状況 （人数、内容等）	語学クラスはなく、韓国人学生と共に通常授業を受けた。
履修科目・内容	体育や調理実習など実技系と歴史や多文化理解などの講義・演習系 など自由に選択して履修することが可能 言葉が慣れない最初の学期は実技系を多くとるのもおすすめ
先方大学等の 単位認定状況	評価は中間・期末のテストやレポートでだされるが、留学生であることを考慮してくださるので、真面目に授業に出ていれば落とすことはない。
本学での単位認定状況	申請しなかった。
学年歴 （学期・試験・休暇等）	<学期> 3月～6月中旬・8月下旬～12月中旬の二学期制 <試験> 中間試験と期末試験があり、基本的にレポートや筆記試験、発表によるもの <休暇> 夏休みは6月中旬～8月下旬・冬休みは12月中旬～2月いっぱい
履修に関する留学先大学の サポート（チューター等）	・大学に留学生のお世話をする課があり、そこで連絡事項や送迎などをしていただいた ・チューター制度はないが、福教大に留学していた学生がサポートしてくれた

学習環境（図書館等）	学生証で自由に利用可能
居住環境	<p>大学内にある寮：1～3館まであるが最も新しい3館は夏にはクーラー、冬はオンドル設備でとても快適。1階に食堂があり、朝・昼・夜と決まった時間に土日祝日毎日たべることができる。</p> <p>部屋は2人部屋で、寮の先生に頼めば日本に関心のある韓国人学生を募集してくれる。</p> <p>浴槽はなくシャワーのみ。ガスは使えないが電子レンジは自由に使用可能。</p> <p>寮の地下には洗濯機があるほか、パソコン、印刷機、卓球台、ビリヤード台があり門限の0時までなら自由に使うことができる。</p>
生活費（月額）	寮費（3食付き）2～3万程度

物価（食費、住居費等 日本の物価と比較して）	<ul style="list-style-type: none"> ・交通費：釜山市内どこまで行っても100円程度 ・食費：500円でおいしく満足いく食事ができる <p>※大学近くに大型スーパーがあり、安くたくさんお菓子や生活必需品を買うのに便利</p>
留学・研修等の必要総額 （渡航費、生活費を含む）	旅行などの娯楽費をあわせても80万円程度
治安状況	日本とほぼかわらない。安全。
保険	J1留学保険に加入（8万程度/年）
その他注意すべき事項	最初に寮費を一学期分払わなければならないので、少なくとも20万～30万以上はもっていく必要がある。

留 学・語学研修等体験レポート（自由記述）

私の約10カ月にわたる釜山での留学は、たくさんの出会いや発見を通して人と人の繋がりを実感する、そのような体験となりました。

釜山教育大学はとても恵まれた環境のなかで生活できます。日本人は福岡教育大学からの留学生数名しかおらず、中国や台湾からの留学生も多くて5、6人ほどしかいません。そのような状況の中で不安に思う方もいると思います。しかし、だからこそより深い出会いができるのです。

釜山教育大学には留学生用の授業というものは実施されておらず、一般の韓国の学生と同じ講義を同じように受けます。確かに全て韓国語で進んでいく授業は大変ではありますが、その分韓国人の学生が助けてくれます。そんなとき韓国人の国民性として、助け合いの精神の強さというものを感じることが多くありました。簡単な頼みごとから相談事まで気軽にするのが当たり前！それがチング（友達）！そんな韓国の学生にとって日本人留学生はかっこの獲物となり、遠慮せず頼ることができました。さらに日本のドラマやアニメの影響などもあり、日本に興味をもっている学生も少なくありません。たとえ授業で一緒にならなくても話しかけてくれる学生もいます。サークルでの出会いや、寮で同じ部屋になった人とは特に仲良くなりました。留学の後期に入り、私は大学で唯一の日本人となりましたがそんな学生たちの助けもあって楽しく過ごすことができました。

また留学における出会いは大学の中だけではありません。今のところ大学には韓国語のクラスはありませんが、釜山市庁内にある国際交流財団が週2で韓国語講座を開いており、そこでは無料で受講することができます。さらに日韓交流財団も別があり、そこでは韓国語講座はもちろんのこと、さまざまな文化体験を受けることができ、釜山市外をツアーできたり韓国料理を学んだりできます。そういった講座や文化体験での出会いもまた留学の醍醐味といえます。韓国人との新たな出会いもありますが、韓国で生活している日本人やさまざまな国から来ている外国人と韓国語を通じて交流していくというのも、おそらく留学を通してしかできない経験ではないでしょうか。たくさんの人々がいろいろな国からいろいろな事情で韓国にきて生活しています。そういった話を聞くこともまた、自分の中の世界観や価値観を広げるものとなりました。

逆に留学の中で最も後悔したこともありました。それは日本でもっと韓国語の勉強をしておくことでした。

私は韓国に行く前、生活していればどうせすぐ上達するだろう、とほとんど勉強せずに留学に臨んでしまいました。確かに普通に生活していくことはできたし、語学も順調に上達していった方だと思います。しかし、だからこそ日本で勉強していればもっと留学生活を楽しめたのではないかと、もっと積極的に動けたのではないかと今になって思います。留学生活において積極的になるということはとても大切なことです。しかし言葉に自信が持てないとなかなか自分から動くことは難しいと思います。私も言語に慣れるまではそうでした。そもそも私が留学を決めた理由は、福岡教育大学で韓国からの留学生と出会ったことで、もっと韓国を知ってみたい！もっと深く付き合いたい！ということからでした。そのような目的を持ちながら、韓国語に不安を抱き、消極的になってしまっただけでは本末転倒です。このように本来の

目的や目標を忘れないことの大切さもこの留学によって得ることができた大きな成果だと感じます。

留學生活はたくさんの発見と驚き、出会いと喜びの連続です。そのなかで私は、一つ一つの繋がりに感謝し、その意味を知ることの大切さを学べることができました。楽しいこともつらいこともあると思いますが、必ず視野が広がり、なんらかの形で人生の役に立つはずです。本当に素晴らしい経験になるので悩んでいる人はぜひその一歩を踏み出してみてください！